

住之江インクルーシブ教育支援センター〈支援・相談〉

地域支援 ～ 個別支援編 ～

気持ちのコントロールが難しい、手が出てしまう…

先生や友だちとの関わり



- ・友だちと揉め事が多い
- ・ルールを守れない
- ・怒り出すとなかなか落ちつけない

それぞれに合った指導内容や支援方法がわからない…



- ・授業中に集中が続かない
- ・話が聞けない
- ・離席してしまう など
への指導・支援方法

それぞれのしんどさの原因が何かわからない…

集団活動への参加



集団活動や教室に入れない、登校しぶりのある児童生徒への支援方法



・感覚の鈍感さ、敏感さ

・きまりを守れない



・イライラのコントロール



・よくしゃべるのに学習がすすまない

・同じ失敗を何度もくりかえす



・時間が守れない

1人ひとりの様子を丁寧に観察し、得意な力をいかして、不得意な部分を支援します！

友だちの気持ちを考えずに言いすぎる



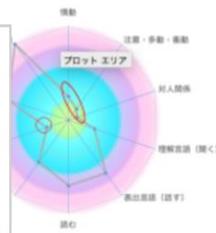
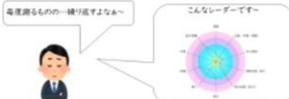
【数量】の分野が得意でなく、論理的に考えることが苦手です。物事の順序や関係性の理解より、自分の気持ちを優先してしまいます。

【理解言語】聞く力の弱さから、状況を理解できず、思い通りにいかないことでイライラばかりが募り、余裕がありません。

《支援プラン》

まずは、気持ちのコントロール方法を身に付けましょう。そのために、本人の言い分を、まずは大人が聞いて受容することが重要です。気持ちを受け止めてあげることで、落ち着きを取り戻し、落ち着いて聞くための“心の余裕”が生まれます。得意な【読む】力を利用して、本人の理由や、相手の理由を順序立てて紙に書いて整理して理解をするなど、視覚支援をしながら理解を補う工夫をし、自分の気持ち・相手の気持ち・相互の関係性について、丁寧に振り返り、理解する経験を重ねることが大切です。すぐにはうまくいかない場合も多いですが、積み重ねることで、自己理解、他者理解、状況を理解する力が深まり、情動・対人関係が伸びていくと考えられます。

「注意されても同じことを何度も繰り返す」、対人トラブル多めタイプ…



～ このレーダーと困りごとから見えること ～

目に見えない特徴もレーダーから読み取って支援に活かしていきます！

【理解言語】聞く力の弱さから、注意されている意味が相手に伝わりづらい場合があります。

【表出言語】聞く力に比べて、話すことが得意でよめんなので、理解できるように話しかけてあげてください。話を聞いていない言葉の意味が分からないことや、聞いた言葉も聞いていないことが多くなる場合があります。

【読む】意味を理解する力もプロットエリアが「聞く」(言葉のみで伝える)より、「見る」(言葉+視覚化)の方が発達しています。

【情動・注意多動衝動・対人関係】理解できることが減ることで、気持ちが不安定で「情動」が湧きます。気持ちが不安定だと「注意・多動・衝動」の行動も高くなります。また、物事とつながりをつくることを学び、対人関係も変わります。

【数量】計算が得意なことから、考える力が「考える力」で見えがちな、計算や数量的なことが得意でも、言葉の理解の弱い子も多いです。

その他に、こんなこともしています！

各種発達検査・読み取り

- ・ A² (assessment, acomodation) 支援のための発達アセスメント
- ・ KABC-II 発達検査 など

支援方法・支援プランの提供

- ・ 実態把握、目標設定、支援の手立て
- ・ 合理的配慮 など

